

要 望 書

阿尾自治振興委員會

要 望 書

日頃より阿尾自治振興事業に多大なお力添えとご協力を賜っております事に感謝を申し上げます。

近年の阿尾部落の農業事情は小規模な個人経営から集約型個人経営者への委託や法人化された阿尾営農組合での農業経営へと変化をしてまいりました。

また、農地及び農業用施設においては昭和 40 年代前半に行われた団体営によるほ場整備事業で整備され、ため池の白上池においてはかんがい面積 65ha・貯水量 2 万 t の基幹施設として、昭和 51 年から 54 年に老朽ため池として整備されて現在に至っております。

そして、それらの農業用施設やため池等については以来阿尾部落が管理しており、近年では多面的機能支払交付金事業を取り入れるなど、阿尾自治振興事業として維持管理をしてきているところです。

しかし、それらの農業用施設は老朽化し、維持管理に手を焼いているところです。特に白上池は農業の水源・消火用水源として重要な施設であります。この白上池の漏水が近年目立ちはじめ、一部の提体法面が崩落し決壊の恐れすら出始めているところです。

部落としましても一時的な補修はしておりますが危険度は変わりなく、貯水量を下げて管理をしているところです。

このため池の前面付近には 5 戸～7 戸の人家が密集していることや、主要な県道が通っており往来する車両も多いことから、ため池の決壊する事態となれば尊い人命が失われる危険が伴われます。ましてや下流域にはつまま園の老人介護施設があり、このまま放置するとなれば甚大なる被害が予想されますので、早々の整備が必用であると思われます。

そこで阿尾自治振興委員会としましては、島尾部落で実施完成されました島尾大池同様、県営事業で行われております中山間地域防災減災事業などの計画に取り上げていただき、早々の対応をしていただきますよう強く要望いたします。

平成 27 年 8 月 日

氷見市長
本 川 祐 治 郎 様



阿尾自治振興委員会

総 代 野 手 憲 二



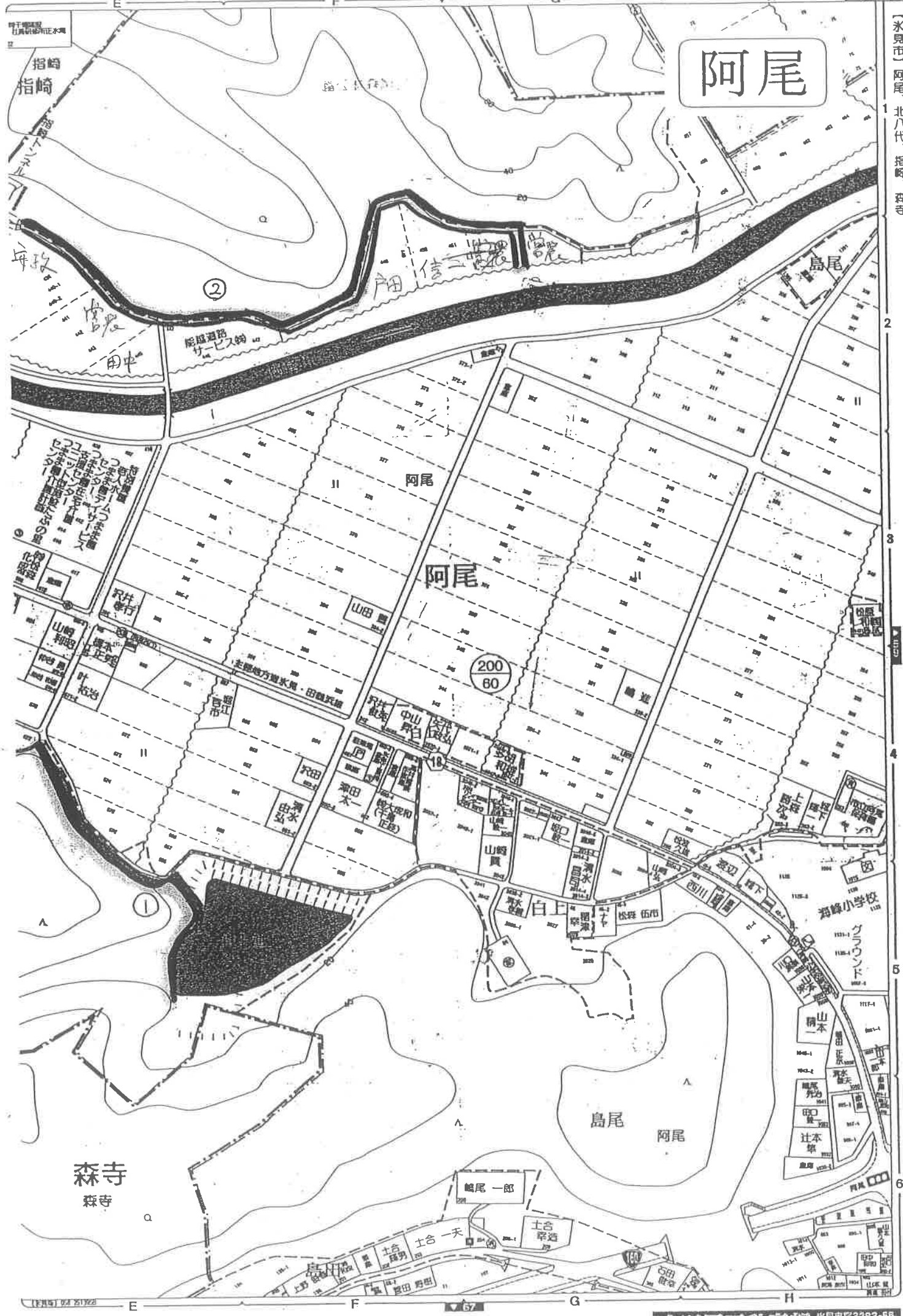








阿尾



「水尾市」阿尾 北八代 指崎 森寺